

一 読み

/12

二 画数

/4

三 送りがな

/5

四 熟語の構成

/5

五 部首

/4

六 対義語

/5

七 書き取り

/14

合計

/49

合格のめやす

35問(7割)

一 線の漢字の読みを、ひらがなで書きましょう。

① 工場から公害が出る。

② とびばこのあと、上手に着地できた。

③ 図書室で詩集を読んだ。

④ この本はとても良い。

⑤ 一万人が見にきた。

⑥ 毎日健康にすごす。

⑦ 足し算のもんだいをとく。

⑧ 花のたねから芽が出た。

⑨ むかし、この町はとても栄える。

⑩ すきな動物はパンダだ。

⑪ 台風が去ると、青空が広がった。

⑫ 救急車をよぶ。

二 次の漢字は、何画で書きますか。数字で書きましょう。

① 農

画

② 少

画

③ 末

画

④ 客

画

三

—線のことばを、漢字一字と送りがなで書きましょう。

れい

くるまがとまる。

止まる

① 遠くの友だちからたよりがとどいた。

② 健康をたもつ。

③ バットでボールをうつ。

④ こまがくるくるまわる。

⑤ ほそいえだにとりがとまる。

四

次の熟語の組み立ては、「」の「ア～エ」のどれにあたりますか。記号で書きましょう。

ア 同じような意味の漢字を組み合わせたもの(れい 岩石)

イ 反対や対になる意味の漢字を組み合わせたもの(れい 左右)

ウ 上の漢字が下の漢字をくわしくしているもの(れい 青空)

エ 下の漢字が「ゝを」「ゝに」にあたるもの(れい 読書)

① 貯金

--

② 防災

--

③ 消灯

--

④ 損得

--

⑤ 寄付

--

五

部首がつく漢字を□に書きましょう。□の右は読みです。

れい

イ

(にんべん)

休

やす

む

貝

(かい)

①

ざい

力

②

ます

しい

竹

(たけかんむり)

③

せつ

季

④

ちく

建

六

反対の意味のことばを、「」からえらんで漢字で書きましょう。

れい

大きい ⇄ 小さい

「つめたい きよか りえき げんいん ふくすう」

①

結果 ⇄

②

単数 ⇄

③

温かい ⇄

④

損失 ⇄

⑤

禁止 ⇄

七

——線のことばを、漢字で書きましよう。

① 早ね早おきのせいかつをつづける。

② 自てん車をおしてさかをのぼる。

--	--

③ この町はすいさんぎようがさかんだ。

④ ごごから雨がふる。

⑤ 高いさんみゃくがつらなる。

⑥ いすをよつつならべる。

--	--

⑦ つよいいしをもつ。

⑧ つみをみとめる。

--	--

⑨ どうびはおやすみです。

--	--

⑩ どうでできたかね。

--	--

⑪ 話のないようをまとめる。

⑫ かがわけんはうどんがゆうめいだ。

⑬ 犬のけをブラシでとかす。

--	--

⑭ おかしを三人でわける。

--	--

